



「次の世代のために、
優先順位を
誤ってはいけない。」

当選10回、自民党一筋30年の
村上誠一郎代議士。

その「ミスター自民党」が訴える。
今の政治の課題はなにか。

公開講演会
申し込み不要

本来政治がなすべきこと

一財政・金融・外交・教育の立て直しと
安保法制・特定秘密保護法の問題点一

主催

場所

日時

松山大学所報研究助成
(倉澤・井口・遠藤共同研究)企画

松山大学8号館844番教室

6月5日(日) 13時〜16時

村上誠一郎氏プロフィール

1952年生まれ、本籍地愛媛県。東京大学法学部卒業。

1986年衆議院選挙に初当選。以後、10回連続当選(愛媛2区)。

大蔵政務次官、衆議院大蔵常任委員長、初代財務副大臣、小泉内閣で国務大臣
(行政改革・地嶽再生・構造改革特区担当)並びに内閣府特命担当大臣
(規制改革・産業再生機構担当)、衆議院政治倫理審査会長等を務める。

現在、自由民主党総務、税制調査会副会長、四国ブロック両院議員会長。

「正論居士」として**特定秘密保護法、集団的自衛権を認める
閣議決定(解釈改憲)、安保法制に反対する。**

瀬戸内海で勇名をはせた村上水軍の末裔。

正論ズバズバ 村上語録「我々(政治家)には憲法を尊重し遵守する義務があるんです。
…安倍さんがやろうとしていることは…それを壊す危険性を持っている。だから
反対せざるを得ない。これは右とか左とかではなく、民主主義や法律をまっとうに
学んだ人間であれば誰でもわかる」(『世界』14年5月号)